



2026 年 10 月 1 日発行
1952 年 5 月 13 日発刊
毎月 1 日 (月刊定価 1 部 60 円)
(購読料は YMCA 会費に含まれています)
公益財団法人名古屋 YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

10



チャリティーランを 新しい世界に触れるきっかけに

第33回チャリティーラン実行委員長 石橋 遼大
(みつリーダー)



靴箱の中で眠っていた新品同然のランニングシューズを引っ張り出してから、早数ヶ月。11月に開催される「第33回名古屋 YMCA インターナショナルチャリティーラン 2026」に向けて、着々と体力づくりをしています。実行委員長を務める以上、「まずはしっかり体力を作っておかねば!」と意気込んでいるところです。

私は元ユースリーダーで、主に野外活動を担当していました。子供の頃は神戸 YMCA に所属し、生粋の(?)アウトドアっ子として育ちました。私の長所は好奇心です。「色んなことを知りたい、体験したい、考えたい」という性分は今も健在で、その探究心が背中を押し、今回の実行委員長に立候補しました。

委員長を任された際、最初に考えたのは「自分に何ができるのだろうか」ということでした。寄稿の機会をいただきましたので、少し私の考えをお話させていただきます。

世界 YMCA が掲げる Vision2030 の中に、「Just World (公正な世界の実現のために)」という理念があります。スケールが大きく、一見すると他人事のように思ってしまうかもしれませんが、非常に重要なテーマです。その中身を紐解く中で、日本 YMCA 同盟が掲げる次のステップに出会い、とてもしっくりきました。

「YMCA を真に多様で公平な、そして包括的なムーブメントにする」

これを目にした時、「まさにチャリティーランこそ、このムーブメントそのものではないか」と深く納得しました。リーダー OB として関わり続けてきたからこそ得られた気づきであり、実行委員長としてこの一角を担えることに、大きな喜びと誇りを感じています。障がいのある子ども達を " 走って支援、寄付して支援 " という参加している人達が直接働きかけている実感が湧きやすいイベントなので、運営に俄然力が入ります。

ただ、「公正な世界」という言葉は依然として少し抽象的です。そこで私は、これを身近な行動として「相手の考えを十分に聴くこと」、そして「新しい世界に触れ、視野を広げること」だと解釈してみました。

経験を重ねるほど自分の考えは確立されますが、同時に知



覚の範囲が偏ってしまうこともあります。だからこそ、新しい環境に飛び込み、未知の経験や情報を取り入れることで、柔軟に多様な考えを受け入れられるようになって考えています。

今年の名古屋は、アジア大会・アジパラ大会が開催される特別な年です。普段はスポーツ観戦と縁遠い私ですが、やはり気になっています。ネットで調べるだけでなく、文章を読んだり、友達に共有したり、実際に現場へ出向いて体験してみる。こうした一つひとつの行動こそが、「公正な世界」へ繋がる一歩になるのではないのでしょうか。

「そうは言っても、現地へ出向く機会がない」と思われますか? 絶好の機会がありますよ、11月7日のチャリティーランが。ぜひ一緒に一歩を踏み出してみませんか。

YMCA のインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちを支援することを目的として長年にわたり実施されています。全国の YMCA では、障がいのある子どもたちのためのプログラムを実施しています。皆様からの支援金により、多くの子どもたちが、これらのプログラムに参加しています。また、子どもの支援や指導に関わるスタッフ及びボランティアの育成研修にもこの大会の支援金が用いられます。秋の1日、ともに走ることで、ご協力をお願いします。

2026 日韓ユースセミナー

「Building Our Future」 ～私たちの未来を築く～

2026年度日韓ユースセミナーのテーマは「Building Our Future」～私たちの未来を築く～。様々なプログラムや話し合いを通して交流を深め、考えを共有し合う中で絆を深めていきました。はじめの8月22日～24日は日和田高原キャンプ場の自然の中で過ごしました。名古屋に戻りホームステイ、25日の夜にフェアウェルパーティーを行いました。

「Building Our Future」について話し合いでは、未来を考える有意義な時間となりました。自分たちの未来はどうなってほしいのか、そのために今できることは何か、それぞれの考えを尊重し合い、伝え合いました。この日の夕食は料理対決と称して、それぞれの国が考えた自慢の料理を作り、食文化を通しての交流の時間を楽しみました。夕食後はキャンプファイヤーで大盛り上がり。その後の時間は、レクリエーションや語り合い、あっという間に時間が過ぎた様子でした。

ホームステイでは、ホストファミリーのみなさんに温かく迎えていただき各家庭で過ごしてきました。出発前は、緊張で表情がかたかったユースもありますが、翌日に再会したときにはホームステイの時間も充実していた様子が表情から伝わってきました。

フェアウェルパーティーには、ホストファミリーのみなさん、

このセミナーの再開にご尽力いただいた名古屋ワイズメンズクラブのみなさん、過去のユースセミナーの方々、そして、ソウルYMCAの理事長や会長をはじめとする6名の職員の方々、70名が集まりました。ソウルYMCAと名古屋YMCAの63年のつながりの歴史を振り返り、食事を共にしました。また、キャンプ中に歌った思い出の歌、「にじ」を日本語と韓国語両方をみんなで歌いました。同世代の仲間と過ごし語り合うことは、未来に向けた新たな刺激となります。平和で公正な世界への実現のため、このセミナーがつながれていくことを願います。名古屋ワイズメンズクラブ、ホストファミリーのみなさま多くの方々のご協力に心から感謝申し上げます。（担当スタッフ 谷口 みはる）



Road to 125

125周年と30周年

水谷 公亮(かいりきリーダー)

南山YMCA非常勤講師・南山バザー実行委員長



私とYMCAとの関わりは、実家と上前津にあった本館が徒歩3分ほどの距離にあり、祖父が通っていました。私が赤ちゃんの頃に祖父に連れられ、体育館で撮った写真も残っています。次に父も通いだし、私も幼稚園からYMCAのプールに通うようになりました。

父は今も当時のメンバーの方々と連絡を取り合っているようです。

私はプールに小学校高学年まで通い、そのまま当時まであった進学塾にも通いました。プールも塾もよその施設ならしんどくてイヤイヤだったかもしれませんが、YMCAのおかげか楽しかった思い出しかありません。中でも当時は2日間行われていたバザーは、手伝いも含めて本当に楽しかったです。

大学生になり、父からYMCAがリーダー募集してるらしいと聞き、プールのリーダーを始めることになりました。

それからは日曜日以外、ほぼ毎日YMCAにいたと記憶しています。夏休みには1日6時間以上水の中。プールのない時は日和田キャンプ場。そのためリーダー仲間はたくさんできましたが、大学の友達は0!とにかくずっとYにいました。

そんな大好きだった上前津の開館がなくなり、途方に暮れていたとき突然三枝バケツリーダーから連絡をいただき、「南山でサポート体育のリーダーをしないか?」と誘われ、喜んで参加することにしました。

現在は火曜日に1時間の体操のクラスにだけしか行っていませんが、バザーやチャリティラン等のイベントにも参加させていただいております。バザーに関しては、またまた実行委員長を仰せつかりましたので、皆様ご協力をお願いいたします。

ここ数年は上前津の時のスタッフ、リーダー達と、水泳チームのメンバーだった子たちと年に何度か会って、Yの昔話をしながら宴会をするのが楽しみの1つです。また、メンバーだった子がリーダーになってYに戻ってきてくれたのを見たり知ったりするのも、とても嬉しく思います。

改めて振り返ると、私もリーダーちょうど30周年。これからも体の動く限り、リーダーを続けていければ。と考えています。

日本語学院 お国だより

ダサイン

ネパールにはたくさんのお祭りがあります。その中でも、最も大きくて大切なお祭りが「ダサイン」です。ダサインは約15日間行われ、「悪に勝つ正義」を祝うお祭りです。

ダサインは「ガタスタパナ」から始まり、ジャマラを育てます。その後、フルパティ、マハアシュタミ、マハナワミなどの日があり、最後に「ビジャヤ・ダサミ」を迎えます。この日は、年上の人から赤いティカとジャマラをつけてもらい、健康や幸せを願って祝福を受けます。ダサインになると、家から遠く離れて住んでいる人も家族のもとに帰ってきます。そして、家族や親戚、友達と一緒にご飯を食べたり、話したりして楽しく過ごします。普段



なかなか会えない親戚にも会えるので、とても嬉しいです。

ダサインは、ただのお祭りだけではなく家族の大切さや人とのつながりを感じることができる特別なお祭りです。

(マニサ)

連載 事業所紹介

名古屋YMCA日本語学院

日本語学校は、開校以来9年目を迎えました。2018年4月は17名の在籍で始まった日本語学校ですが、2026年4月には126名となりました。

入学者数が増えることによって手狭となった校舎も拡充をしました。当初は、コンクリート造6階建の3階から6階を教室として使用し、2階を職員事務所としていました。



学生が授業を受けるだけの学校であれば問題はありませんが、学生の居場所となるスペースも必要となりましたので、隣地に木造2階建ての校舎を2025年に建築し、スペース不足であった駐輪場も確保できました。現在では、6階建の校舎を教室棟、2階建ての校舎を事務所棟として利用しています。

現在私たち名古屋YMCA日本語学院は、文部科学省の認定日本語教育機関となるための申請業務に取り組んでいます。日本語教育を担うすべての日本語学校が大きな改革の波にもまれている時ではありますが、夢を持って日本留学を目指す留学生たちを永く迎え入れ続けるために、日々努力していきたいと思えます。

(校長 万福寺 昭美)

総主事コラム

熊本にて

2026年7月28日、熊本で再び大きな地震が発生いたしました。前回の地震は2016年4月14日でしたから、10年3か月後に再び大きな被害を受けることになりました。

発災から1か月後の8月末、被災地ではありませんが熊本を訪れる機会があり、熊本空港に降り立ちました。機上から眺める阿蘇は雄大で、噴火口からは噴煙が立ち上がり、草千里は陽光を浴びて緑色に輝き、大自然の豊かさや力強い営みを感じずにはられません。10年前、避難所支援のために熊本に向かった際には、機上から見えるブルーシートに覆われた屋根が被害の大きさを物語っていました。しかし今回は震源地が宇城市と八代郡であったため、空港周辺には震災の傷跡はほとんどなく、日常の営みが普段通りなされているようです。

国内で震度7を観測した地震は、2024年1月1日の能登半島地震以来2年6か月ぶりです。広範囲で多くの家屋が倒壊した光景は、今も目から離れません。残念ながら今回は被災地まで足を運ぶことはできませんでしたが、被害に遭われた方々の心痛を思うと、私の胸も締め付けられる思い

です。

近年は線状降水帯が頻繁に発生し、各地で被害が続出しています。ここ名古屋でも9月8日夕刻、豪雨に見舞われ大きな被害が発生しました。地震と豪雨の被害を比較する必要はありませんが、ひとり一人の生活にとっては、どちらも大きな痛手であることに違いはありません。

9月9日の朝、豪雨の影響を心配して訪れたある幼稚園の裏山で、大雨により溢れた溜池から流れ出てきた一匹の鯉が、小さな水たまりに流されて、必死に命をつないでいました。50センチほどの鯉が、わずか55センチほどの水たまりにすっぽりとはまっています。人の命も魚の命も、かけがえのない大切な命です。助けられることを知らずに暴れる鯉と格闘しながら、最後には「助けてやるから静かにしなさい」と優しく語り掛け、苦戦の末に元の池に戻すことができました。

「小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である」ルカ書16:10 熊本の地で、ひとり一人の暮らしに寄り添いながら、今回も避難所の運営を担われている熊本YMCAの尊い働きと多くのボランティアの献身に心より敬意を表します。

(中村 隆)

2026年度 南山バザー

今年も南山バザーの季節がやってきました。南山幼稚園と南山ファミリーYMCA共催で行う南山バザーは、例年多くの人たちで賑わいます。たべもの、ジュース、ゲーム、リサイクルショップやこどもマーケットなど幼稚園の保護者のお店もあり、いろいろなお買い物が楽しめます。タコスキッチンカーもやってきますよ。みなさんぜひお越しください！

(担当スタッフ 清水 美佐子)



日時 2026年10月25日(日) 10時から14時
場所 南山幼稚園・南山ファミリーYMCA
(名古屋市昭和区南山町14)

<会場>
南山幼稚園・南山ファミリーYMCA
(名古屋市昭和区南山町14)

<お問い合わせ>
南山幼稚園 ☎ 052-831-8271
南山ファミリーYMCA ☎ 052-831-6968

2026年10月25日(日)
10:00-14:00
雨天決行/入場無料

2026
南山
バザー

南山幼稚園
南山ファミリーYMCA

お靴入れ用ビニール袋とエコバックを
ご持参ください

会場駐車場ご利用不可/駐輪場はご利用可能です。
路上駐車は近隣のご迷惑となりますのでお控えいただき、
徒歩・自転車でのご来場にご協力をお願いいたします。

維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

維持会員(継続)

春日 裕忠	船戸 章	水谷 克巳	水谷 里美	黒柳 麻琴	近藤よし恵	山田 英次	牛田賢一郎
荒川 恭次	荒川 恒子	阿部 一雄	信田伊知郎	高田 士嗣	服部 庄三	早川 政人	松原 行謙
中條 秀和	吉川 裕子	小尾 雅彦	小尾 昌代				

賛助会員(新入)

ファイナンシャル・ジャパン株式会社

寄付金・募金

(学童キャンプ)	川本 龍資	中井 信幸	
(チャリティーラン)	義井 裕子	近内 一彦	辻 恵子
	神田 太陽		
(熊本緊急支援募金)	西村 清	鈴木 雅丈	川本 龍資
	渡辺 孝	林 敦子	ウダ ヨコ
	牧野 和博		
(一般寄付)	中條 秀和		

早天 祈祷会

日時 10月6日(火) 7:45～
会場 名古屋YMCA5Fチャペル
奨励 田原吉胡伝道所代務
高岡 清 先生

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2026年度聖句

「平和を実現する人々は、幸いである。」
マタイによる福音書 5章9節